

相良ホーム長の ご利用者ファースト

相良 勇



『 ケアプランの過程 』

今年度から、田中に代わり、私がケアマネージャーを引き継ぐことになりました。そこで今回は、グループホームこまばのケアプラン及びケア実践の流れをお伝えしようと思います。

グループホームこまばでは、ケアプラン作成に「センター方式」のアセスメントシートを使用しています。「センター方式」とはパーソン・センタード・ケア（その人を中心としたケア）の考えに基づいた書式です。

その書式は、利用者さんの「望む生活・好きな事・やりたい事・できる事・わかる事」等の項目になっており、利用者さんの身体機能や疾患等よりも、本人の「持てる力」や「人となり」により多く焦点を当てて行く考え方です。

その書式をホーム職員（居室担当）と家族がそれぞれ記入した上で、ケアプラン会議で話し合い、プランを作成します。

ケアプランは半年～1年の期間で作成するので、どちらかと言うと方向性を示す役割になっており、その方向性をもとに、毎月の会議で具体的なケアに落とし込んでいきます。毎月の会議では、居室担当が「今現在の利用者さんに適したケア」を考えて提案し、皆で話し合っ決めていきます。当然のことですが、この会議でも「利用者本人がどうしたいか」を基準にしています。次の月にそれまでの評価をし、またケアを考えて実践して…というサイクルになっています。

この会議は職員の教育も兼ねており、職員が担当利用者のケアを「自ら考える」事ができるようにしています。「自ら考えたことを皆で実践する」と言うのが

「ザ・こまばスタイル」です。その結果、利用者さんが「その人らしい」暮らしが出来たら、こんな楽しい事はありません。時にはその時の利用者さんに合っていないケアを行ってしまう事もあります。しかし、次にまた評価して再度考えれば良いと思っています。その再度考える過程も含めて、利用者さんの事を考え続ける事が「利用者中心」のケアに繋がっていくと私は信じています。

ケアマネージャーとして至らない事もあるかと思いますが、ご利用者の望む生活ができるように力を尽くしてまいりますので、これからも宜しくお願い致します。



『 お看取り 』

グループホームこまばで、ご利用者様をお看取りさせて頂きました。お別れをした後に、職員で看取りの振り返りを行いました。その時の職員の声をお伝えしたいと思います。

- 亡くなる場に一緒にいられて幸せだった
- 最期まで一緒にいられてよかった
- 安心して関わることができた。いつお別れの時を迎えても良いくらい落ち着いた時間だった。苦しそうな時も一緒に横になったりでき、本当にいつも通り過ごさせて頂いた
- 最期まで相手を気遣うお声や姿勢を取って頂き、自分もこうありたいと思った

こんな素敵なエピソードもありました。

●お亡くなりになる2日前、「トイレに行きたい」とおっしゃるので車椅子でトイレにお連れしてトイレで済ませた後に

「何か飲みますか？」とお伺いすると「コーヒー飲みたいわ」とおっしゃるので作ってコップでお渡ししました。すると、ゆっくりとお飲みになり

「美味しいわ」「気分が良いねん」「うれしいわ」とおっしゃってくれました。

ホーム職員一同、看取りを通して貴重な体験をさせて頂きました。普段からご利用者・ご家族と共にホームを作っていると考えております。これまで本当にホームに関わってくださりありがとうございました。ご冥福をお祈り致します。



お誕生日



誕生日は居室担当が企画して、その人らしい誕生日会などを行っています。今年のSさんの誕生日会はプリンアラモード。きれいに盛り付けました！



母の日

今年はコロナ禍なので、沢山のご家族から母の日のプレゼントが郵送で届きました。



ある方は、手紙を何度も何度も何度も読んで涙を流していました。



〒153-8516 東京都目黒区大橋2-19-1 TEL 03-3466-6600

グループホームこまば の日常生活

「たとえコロナ禍でも出来るだけ変わらない日常生活を送っていただきたい」
グループホームこまばはそれが叶えられる恵まれた環境にあります。
リビングからすぐに出来るバルコニー。いつでも散歩が出来る広い法人の敷地。
法人内には保育園や学童保育、児童養護施設もあり、子供からお年寄りまでが安心して暮らせる社会
があります。恵まれた環境に感謝しつつ、この環境を生かしていきたいと思ひます。



自分の話を聞いてくれる人がいる事は嬉しいことです。
たまには眠くなってしまふことも。信頼関係があるからこそですね。
時には言い合いをすることもありますが、職員は利用者同士の関係
に極力介入しないようにしています。皆様長年身につけた生活の知
恵で人との距離は測っています。

談笑しながら食材を囲んで料理するのは楽しい時間です。
ホットプレートは音と匂いが食欲をそそります。
また、調理に参加しやすいのも Good!



お天気の良い日にはお洗濯！
長年主婦をされてきた皆さんは自然とバルコニーに出て
洗濯物干し。「やろう！」と思えば身体も動く！

調理もできることはまだまだある！
「その人のできることに合わせる」「キッチンは分かりやすい
ようにシンプルにする」ここがポイント！



こまばのバルコニー環境が最高！
ちょっとしたオープンテラスに。
午後は学童保育の音が響きます。

ちょっとした空き時間や雨の
時などは、自然と身体を動かせる
風船バレー等も行います。

新聞や本を読む時間は自分一
人になれる大切な時間です。

今年もナスとピーマン
トマトが豊作です。



法人敷地内の散歩は毎日の日課です。
車椅子を押しているのもご利用者さんです。

グラウンドのベンチで水分補給

月に一回に生花。出来栄えよりもお花に
触れる喜びを大切にしています。